



新型コロナウイルス感染時 の対応

グループホームこころ音

管理者 西本孝幸

・感染者の状況

★全利用者がコロナワクチンを接種。

★職員は毎週2回抗原検査を実施。

(感染当日)

12月21日の朝食後に1名の利用者がくしゃみを何回かされており、念のため抗原検査を実施するも**陰性**。本人も『どうもないが！』と言われる。

↓ (様子観察)

昼食後にもくしゃみがあった為、抗原検査を実施。検査キットの**陽性**に薄い線が見られる。

・感染者発症時の経緯

令和4年12月21日（水）12時に利用者1名が抗原検査にて陽性を確認。



主治医に報告するとともに宮崎市に発生報告を行う。



宮崎市より全職員、全利用者のPCR検査の指示があり翌日に実施。（職員10名、利用者8名）



PCR検査の結果、新たに職員2名、利用者1名の陽性を確認。

・ 感染発生時の行政とのやりとり

① 職員、利用者の名簿の提出

② ホームの見取り図の提出

③ 感染者の行動確認及び接触状況

→ 陽性確認までホールで過ごされていた事、2日前にクリスマス会を開催した事をお伝えする。

④ PCRの指示

→ 全職員と利用者が濃厚接触者と判断され、全員PCR検査の指示。

→ 後に利用者2名、職員2名が陽性。

・ 感染発生時の主治医とのやりとり

① 陽性確認

② 主治医→保健所への発生届

③ 薬の処方。

・ ラゲプリオカプセル 200mg

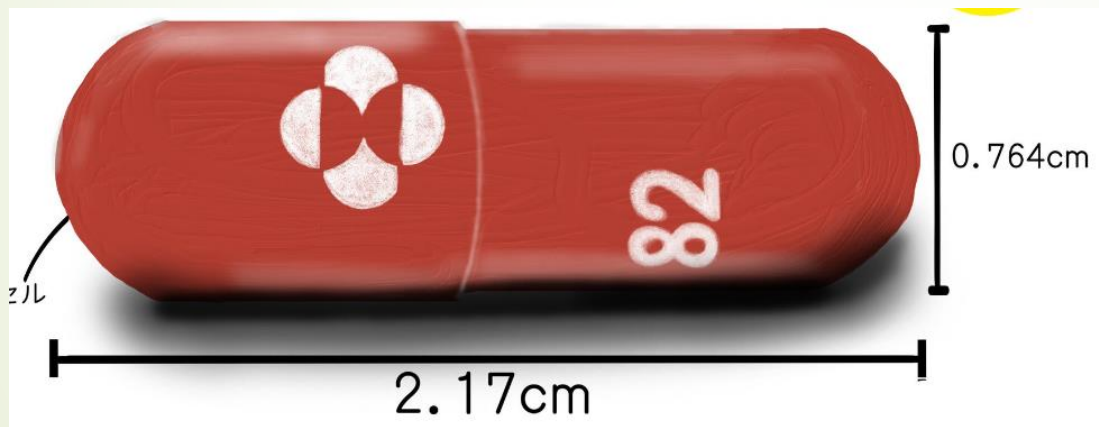
・ カロナール錠 200

・ レスプレレン錠 20mg

・薬物療法

★処方薬として★

ラゲプリオカプセル200mgを処方(1日8錠、1600mg)



※処方するにあたり家族に説明と同意を頂く。

ラゲプリオカプセル200mgの対応

使用して良かった点

- ・利用者様の症状が軽く経過が良好だった。
- ・食事に関係なく服薬は可能とお聞きし食事量が減っている方でも服用する事ができた。
- ・費用が掛からない為、経済的負担がなかった。

使用して大変だった点

- ・家族への同意やサインが必要。
- ・カプセルが大きく服用が大変。

※今回は嚥下が良好な方でも飲むのが大変だった。

ゾーニングの設定

✿ ころ音 施設内案内図



(その後の経過)

①2名の利用者様の経過は良好で、発熱もなし。



②保健所より12月31日、1月2日に隔離の終了許可が出る。



終了・・・と思ったが

③1月7日に職員1名の感染が発覚。



④1月11日に利用者1名の感染が発覚。



⑤保健所より1月21日に隔離の終了許可が出る。

(再感染の考えられる原因)

- ・感染者が居室から出てきてしまい、防護具を着用せずに対応してしまった。
- ・感染者がコール頻回で訪室時にフェースシールドなどを着用せずに対応する場面があった。
- ・症状が軽かった為、油断があった。
- ・年末年始で勤務ができる職員に限りがあり、疲労が蓄積。

(まとめ)

初めてのコロナ感染者もあり最初は緊張感を持って対応することが出来た。

しかし、感染者が日に日に回復傾向が見られると、個々の油断や現場の疲労もあり、結果的に再感染を起こし、1か月近く感染対応となってしまう。

今回の経験を踏まえ、スタッフが無理をしないように配慮しながら最後まで油断しないケアが必要だと感じました。